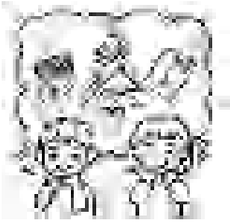
光風台小学校だより

平成 27 年(2015 年)12 月冬休み号

冬休み

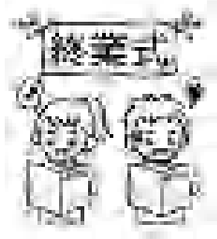


長期休業日の中で、冬休みは格別に心がうきうきして楽しみな休みではないでしょうか。クリスマスや年末年始の催し事があり、その催しを通して家族や親族が顔を合わす機会が私たちの気持ちをわくわくさせてくれるのだと思います。皆様にとって楽しい冬休みであることを願うと共に、風邪などには十分ご留意され、３学期始業式に、お子様が元気な笑顔を見せてくれることを願っております。保護者・地域の皆様のご協力ご支援より、無事に２学期を終えることができました。本当にありがとうございました。

光小トピックス

２学期終業式

11 月末から 12 月初旬に、個人懇談にご来校くださりありがとうございました。お子さんのがんばりや課題について、担任と一緒に考えてくださる機会であったかと思います。本日お渡しした光の子も「こんなことが素敵だよ。がんばって伸びたね。ここは、もう少しがんばろうね。」という担任からのメッセージが書かれています。とかく教科の○の数やお子さんの課題に目が行ってしまいがちになりますが、お子さんのがんばりを先ずは褒めていただけたらと思います。子どもたちは、毎日歩いて登校し、教室で６時間の授業を受けました。元気に毎日を生きている子どもたち、その存在そのものに感謝しつつ、今日はお子様の話をじっくり聞いてくださればと思います。学期の節目で、子どもたちが元気になれて、次へのがんばりを誓えるような終業式の日であることを願っております。



第２回学校協議会

学校の運営について、保護者代表・サポーター代表・地域の方・校医さんの委員さん方にご協議いただく第２回学校協議会を、12 月 10 日に開きました。「全国学力・学習状況調査」の結果から、特に本校児童の学習課題として「言語表現力の向上」や「家庭での読書時間をどう生み出していくのか」について、たくさんのご助言をいただきました。「学校内外の動向」については、「小中一貫教育と学校統合問題」について活発にご意見をいただきました。また本年度・来年度の２年間、文部科学省研究指定として「人権教育（集団づくり）」の研究を本校は推進していますが、その具体的な手立てについてもご助言いただきました。

学校協議会でいただいたご意見を、今後の学校運営に活かしていきたいと思います。

学校教育自己診断にご協力くださりありがとうございました

学校教育自己診断は、保護者の皆様にアンケートでお聞きし、・児童・教職員にも同様に聞きました。保護者の皆様からの結果と児童・教職員アンケートの結果を合わせて、全教職員で受け止め、今後の教育活動や学校運営にいかしていこうと思っております。分析結果は、来学期に報告させていただきます。

学校経営についていただいたご意見の中で、直接お会いしてお話を聞かせていただきたいことについては個別に懇談させていただきました。こうした機会以外の時でも、学校経営や学校教育について気になることがある方は、いつでもおっしゃってください。お話を聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。

学校の様子

豊かな体験授業

３年　吉小との交流＆豊能の農業を学ぶ(11 月 25 日)

先ずは、吉小の体育館でじゃんけんゲームをして3年生同学年交流をしました。その後、どちらの3年生もお世話になっている吉川自治会長の向井 勝さんに、豊能の農業や地域について学びました。「いちごやスイカは、野菜？果物？」等のクイズからお話が始まり、子どもたちは思わず引き付けられます。そして野菜には「旬の季節」があること、「実際に種をまいて育ててみよう」、その場合の土作りの工夫や害虫についてなど、身近な野菜づくりから農業について教えてくださいました。次は、三学期に、「昔の道具や生活、昔の吉川」の学習でもお世話になる予定です。

２年　図書館見学(11 月 25 日)

「地域の図書館を訪ねよう」という生活科の学習として、豊能町立図書館を訪ねました。図書館の仕組みや、たくさんの本の中から自分の見つけたい本の探し方などを、図書館員の方に説明していただきながら見学しました。そのあと、絵本の読み聞かせをしていただきました。2年生は、地域にある施設やお店等を見学し、聞き取りをして地域学習を進めてきています。今後とも、地域の皆様のお世話になります。よろしくお願いいたします。

５年　収穫祭とお礼の会＆亥の子唄(11 月 27 日)

先ずは、田んぼ横の土を亥の子棒で打ちつけて、田植えから稲刈り・脱穀など米作りから学んだことを亥の子唄で表しました。その後、収穫したお米を試食する収穫祭、そしてお世話になったサポーターの皆様にお礼の会を催しました。自分たちの手作りのお米を、白ご飯だけで試食してみると・・「甘い！」のです。土作りや天日干し、堆肥と鶏糞等の肥料などのおかげでしょうか。とてもおいしいお米ができました。この日来られなかった方も含めて、サポーターの皆様には、大変お世話になりました。

４年　国際理解教育(11 月 30 日)

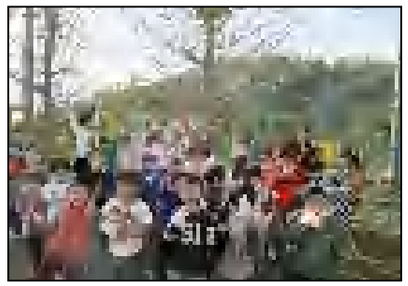
ブラジル滞在 20 数年の進木さん（光風台在住）が、ブラジルの社会や生活、地形、自然、住んでいる人たち等をお話ししてくださいました。両手で抱えるほどの水晶や飾り物など、ブラジルで見つけた珍しい品々を見せ、直接手に触れさせてくださいました。進木さんには、職員玄関前に掲示していた「アナコンダ（大きなブラジルのヘビ）の皮」を寄贈いただきました。ありがとうございました。

６年　上條さんのお話(12 月 2 日)

戦争当時満州で子ども時代を過ごされていたこと、終戦後満州がなくなり日本まで帰ってくる過程などについて話されました。帰国した日本で見た子どもたちの現状に、教育や福祉の大切さを実感され、アメリカに渡り図書館学を学ばれ現在に至る上條さんのお話からは、人生の先輩として多くのことを学ばせていただきました。英米児童書の翻訳者であられる上條さんは、本との出会い、本を友とする大切さをこれからも伝えていかれることと思います。

４年　赤ちゃんと一緒に遊ぼう(12 月 4 日)

地域の赤ちゃん＆保護者の方と豊能町地域子育てセンタースキップの方より、「いのちのお話」と「赤ちゃんと一緒に遊ぼう」の授業を受けました。最初に妊娠期の胎児の様子や誕生するときの赤ちゃんの様子の劇を観ました。その後、4年生のこども達は、赤ちゃんを抱っこさせてもらったり、お母さんにお話を聞いたりしました。お世話になった皆様、ありがとうございました。



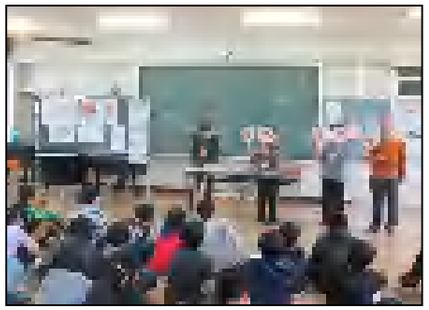
１年生　焼き芋パーティ(12月9日)

収穫したサツマイモを新聞紙にくるんで熟成させ、楽しみにしていた焼き芋の日がやってきました。マキに火をつけ炭になったところへ集めた落ち葉をかぶせてると、モクモクと煙が立ち上がっていきます。置き火の中でさつまいもを入れて待つこと1時間、灰をどけて取り出した焼き芋は、ふんわりと柔らかい。とろとろで、はちみつ色になっています。「おいしい！」「甘い！」、おいしい焼き芋を味わいました。

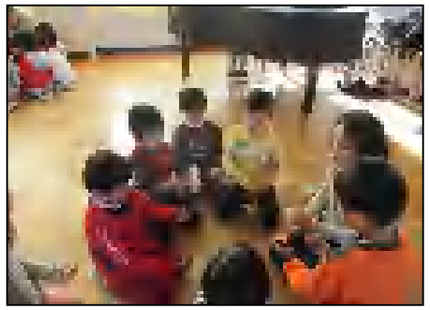
１年　ひかり幼稚園訪問(12 月 10 日)

12 月の初旬、ひかり幼稚園の多目的ホールは「まほうのおもちゃやさん」になっていました。「光風台小学校のこども達や先生方にも是非見に来てほしい」と幼稚園からのお誘いに、1年生が見学訪問。通行金代わりにドングリを持って、「紙のレストラン」等の各コーナーで遊びの体験をさせてもらいました。真っ暗な中でブラックライトの点滅のあるミステリーゾーンは人気でした。来年は他の学年も参加したいと思いました。

６年　認知症について学ぶ(12 月 10 日)



6年生が、豊能町認知症キャラバン・メイトの方の出前授業で、認知症についての理解や認知症の方が過ごしやすい町づくりについて学びました。認知症の方たちの気持ちや、自分にできる関わり方（声掛けや接し方）などを考えることができました。認知症キッズサポーターとなった6年生は、合言葉「ゆめみえた」の「㋮っくりと、㋜を合わせてお話してね。自分でできることもいっぱいやさしく�みまもって、㋦がおで、㋟んてきに」会話することを心掛けていくことを学びました。



１年昔遊び（12 月 15 日）

1年生は、光小サポータの方たちに、昔遊びの「おはじき、おてだま、ビー玉、めんこ、バランス」を教わりながら、一緒に体験しました。最初はとまどっていたこども達も、こつをつかむと楽しく遊びはじめました。サポーターの方たちは「昔はテレビやコンピューターゲームなどはなくて、こうした素朴な手作りの遊びをしていたのですよ。」と話されました。他にも「ゴムとび、紙風船、けん玉、こま」等の遊びも紹介してくださいました。

６年租税教室（12 月 15 日）

「税金って何だろう」を、豊能町役場税務課の皆さんに、出前授業をしていただきました。最初に「マリンとヤマト　不思議な木曜日」という、税金がもしなくなったらどうなるのかという DVD を観ました。それを元に、税金について考えてみました。税金は、火事の時の消防車にも授業料にも、ゴミの収集にも、道路や信号の整備や交番の働きにも、いろいろなところで使われているのです。税金は、みんなが力を合わせてよい社会をつくるためにあるのだということを学びました。

豊かな体験授業　～地域･保護者の皆様の支援の元に～

各学年がさまざまな体験学習に取り組みました。子どもたちが目を輝かせて、豊かで深みのある授業を体験することができました。これらのほとんどの授業に、地域や保護者の皆様の支援をいただきました。このような様々な体験活動の授業を展開することができるのは、保護者・サポーターの皆様の支援があってこそだと思っております。

地域に出かけて学ぶ、体験的に学ぶ、出前授業のように聞き取り学習で学ぶ、これらは子どもたちの豊かな学びとなります。教室の中だけの学習にとどまらず、子どもたちに本物の人やものに出会わせる、地域の人･もの･施設にふれる、豊能の自然を体で感じる、手作り･手作業体験学習を通して先人の知恵に気付く、こうした体験学習を大切にしていきたいと思っております。

こうした授業を充実させていくためには、地域や保護者の皆様のご支援ご協力が欠かせません。今学期も皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げますと共に、来学期もよろしくお願いいたします。